

佐渡島商事株式会社の グループジョインについて

2026/8/28

セーフィー株式会社



労働力不足が加速する『8掛け社会』^{*1}の到来に対し、映像・音声・センサーデータをAIと統合的に掛け合わせることで、現場業務の省人化・自動化、および働く人々のエンパワーメントの実現を目指す

戦略		出資先・子会社 ^{*2}	
データ収集	現場データ (映像・音声・センサー) の 網羅的な取得	  	  
検知・解析	現場データ×AIによる 重要なデータへの迅速なアクセス	  	   
予知予防・ 保険	現場の安心・安全から 経済的補償までオールインワン パッケージで提供		New  総合保険サービス 佐渡島商事株式会社 Sadosimashoji inc.

^{*1}: 8掛け社会: 現場をもつ主要業界における労働供給不足のこと

^{*2}: セーフィーフィールドワークス株式会社、SAFIE VIETNAM CO., LTD.、SAFIE (THAILAND) CO., LTD.、株式会社Laska、Kix株式会社、セーフィーセキュリティ株式会社は当社連結子会社

Vision

安心安全の事故なき世界の実現へ

保険は事故や災害が起こってしまったときの最後のセーフティーネットです

セーフィーグループは「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、
安心・安全な社会の創造を目指し、
遠隔での安全管理や見守り事業を進めてまいりました

私たちだからこそ、顧客のリスクを深く分析し、
事故を未然に防ぎ、万が一の際の補償も行う
一気通貫のサービスを提供できると考えています

事故を未然に防ぎ、発生後もデータで再発防止できる新たな「予防型保険」

事故の「予知・予防」

データドリブンな保険設計

事故発生前

セーフィーグループが取り組んできた領域



クラウドカメラ・映像×AIによる
不安全行動、不審・異常行動を検知

事故発生時

本件を通じて今後取り組む領域



蓄積データを利用した
保険料設定の最適化/再発防止支援

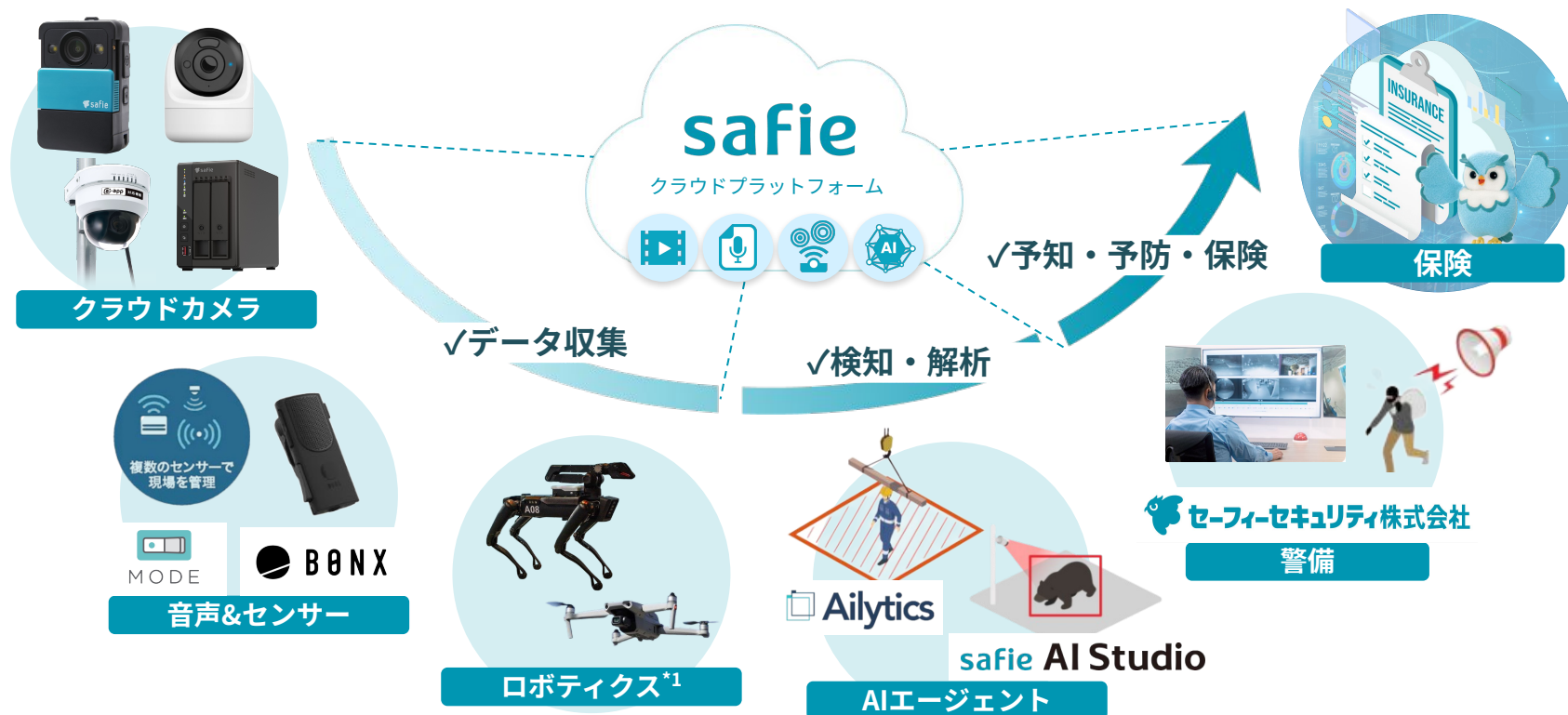
現場AXプラットフォーム

圧倒的なシェアと顧客基盤

膨大な現場データ

多様なAI/IoTと連携する拡張性

これまで培ってきた現場データやAI検知/解析、警備事業を活用して新たな保険事業を展開



*1：ロボティクス：移動型ロボットによるデータ収集

現場の労災や資材盗難をベテランの遠隔支援と警備の遠隔見守りで予知・予防・保険

現場AX

(「現場DX×AI=現場AX」により現場の意思決定と働く人をエンパワーメントする)

現場DX

(現場データの網羅的な収集と効率化)

AIエージェント & 遠隔支援

(検知・解析およびベテランの遠隔支援)

警備 & 保険

(事故の予知予防・保険)



多拠点店舗を一括遠隔モニタリング・分析し、不正ロスを予知・予防・保険

現場AX

(「現場DX×AI=現場AX」により現場の意思決定と働く人をエンパワーメントする)

現場DX

(現場データの網羅的な収集と効率化)



AIエージェント

(検知・解析・分析)

行動検知AI(SF)



不審・異常行動検知AIによる行動解析



万引き常習犯の再来店を自動検知

警備 & 保険

(事故の予知予防・保険)



セーフイクラウド & AXソリューション

1

事故の予兆データを網羅的に収集



2

AIエージェントがリスクを可視化



セーフィー
保険事業の

4STEP

safie

4

昼は安全管理/夜は警備/万が一の事故は保険



24時間365日安心安全な現場

3

予防型保険の組成 / 最適な保険を提供



保険代理店のカバー領域

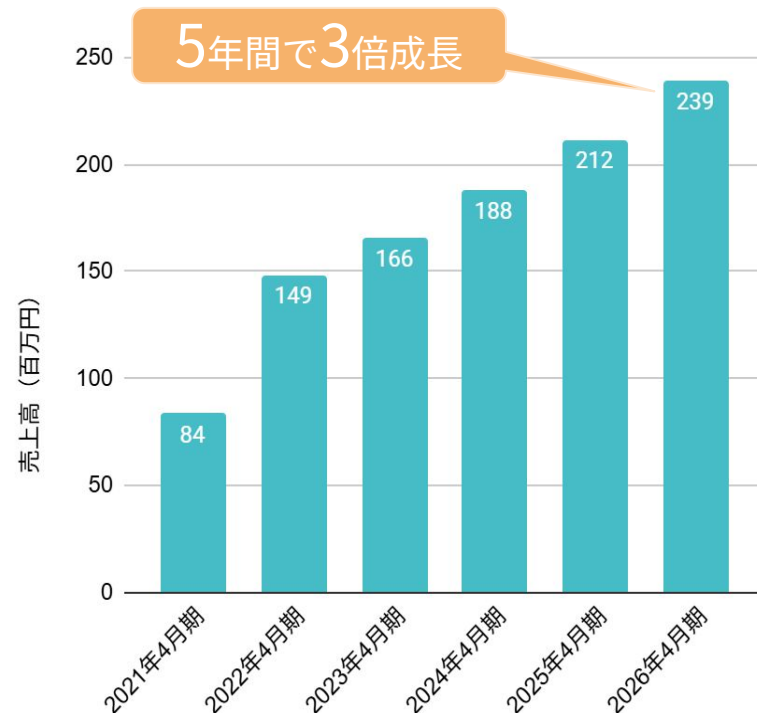
会社概要

商号	佐渡島商事株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
その他事業所	東京、大阪、京都、福岡
創業 / 設立	創業1958年10月 / 設立1993年5月
資本金	7,000万円
事業内容	損害保険代理店業及び生命保険代理店業
主要販売先	法人顧客約2,500社、個人顧客約3,000人
主要取引先	三井住友海上火災株式会社、AIG損害保険株式会社等
従業員数	42名

案件概要

契約締結日	2026年8月28日
株式譲渡実行日	2026年10月1日
取得価額	235百万円(除くアドバイザー費用等)
取得持分	100%
業績への影響	2026年12月期通期連結業績に与える影響は軽微

売上推移



(1) 公正性を担保するための措置

佐渡島商事は当社の支配株主等ではないため、当社にとって、本件株式取得は東京証券取引所の定める有価証券上場規程第441条の2における「支配株主との重要な取引等」には該当いたしません。しかしながら、当社の代表取締役社長CEOである佐渡島 隆平氏は、佐渡島商事の発行済株式の20%を保有する株主でもあります。また、佐渡島商事の株主には、佐渡島隆平氏の近親者であり当社の関連当事者に該当する者が1名含まれております。これらの点を踏まえ、当社は、本件株式取得に係る意思決定について構造的な利益相反関係があると判断し、その公正性を担保する必要があると考えたことから、公正性担保措置を講じました。

具体的には、意思決定過程における恣意性を排除する観点から、当社及び佐渡島商事から独立した第三者算定機関から、佐渡島商事の株式価値算定書の提出を受け取締役会で慎重に審議を重ね、本件株式取得を決議しています。

(2) 利益相反を回避するための措置

本件株式取得は、上記(1)「公正性を担保するための措置」に記載のとおり当社にとって「支配株主との重要な取引等」には該当しません。しかしながら、構造的利益相反関係があるものと考え、利益相反回避措置を講じました。まず、当社は、佐渡島商事との間に利害関係を有する者を除くメンバーによりプロジェクトチームを組成し、本件株式取得に係る検討を進めました。また、佐渡島商事の発行済株式の20%を保有する株主でもある佐渡島 隆平氏は、利益相反回避の観点から、本日の決議を含む本件株式取得に係る取締役会の審議及び決議に参加しておりません。

さらに、当社は、当社及び佐渡島商事からの独立した客観的な立場にあり、当社事業に対する識見も高い社外取締役4名（監査等委員3名、監査等委員ではない取締役1名）で構成される特別委員会（以下「本特別委員会」という。）を設置いたしました。本特別委員会に対しては、(a)目的の合理性：本件取引が当社グループのビジョン「映像から未来をつくる」を実現するため、従来の「事後補償」から「予知・予防」へと価値を拡張するデータドリブンな保険プラットフォームの構築を目的としていること。及び、本件取引は、他社（類似企業）買収案や自社単独設立といった代替案との比較検討を経た結果として対象会社が最適と判断されたものであり、対象会社が保有する知見や顧客基盤を活かした戦略的な投資としての合理性を有していること、(b)取引条件の妥当性：財務・税務、法務および労務の各デューデリジェンスならびに株式価値算定は、専門的な知見を有した外部専門家により実施されていること。及び、取得対価（総額235百万円）は第三者算定機関による客観的な算定結果と比較しても妥当であることを確認したこと、(c)手続の公正性：検討過程において、意思決定プロセスから特別利害関係人である代表取締役・佐渡島隆平氏の影響力を排除し、客観的なプロセスを確保するよう努めたこと、(d)(a)から(c)を踏まえ、本件取引は適切な公正担保措置が講じられており、当社株主の利益を不当に損なうものではないと判断したこと、及び(e)(a)から(d)を踏まえ、本件株式取得の是非について諮問いたしました。本日付で、本特別委員会より(e)までの各事項について本件取引の是非に関し特段の問題はない旨が記載された答申書を取得しております。なお、上記の関連当事者のうち佐渡島 隆平氏以外の1名は、当社の役職員及び取締役会の構成員のいずれにも該当しないことから審議及び決議への参加に関する措置の対象とはなりません、その株式の取得についても本特別委員会による審査の対象に含まれております。



佐渡島商事の保険の専門知見・リスクコンサルティングノウハウと、当社グループの
「映像×AI」技術を融合させることで、データドリブンで
「安心安全の事故なき世界」の実現に向けた取り組みを加速させてまいります

映像から未来をつくる

Create a better future with intelligent vision

セーフィーは日本中、世界中のカメラの映像をクラウド化し
自分のため、社会のために誰もが活用できる映像プラットフォームを提供します。